

第1学年 英語科学習指導案

日 時 平成26年 9月1日 (月) 5校時

学 級 1年1組 男子12名 女子16名 計28名

場 所 1年1組 教室

指導者 白 沢 紀 子

1 単元名 PROGRAM 5 国際フードフェスティバル 【SUNSHINE ENGLISH COURSE 1】

2 単元について

(1) 教材観

本単元の題材は「国際理解・交流」である。登場人物の3人が国際フードフェスティバルに行き、インドのカレーについての会話や、韓国コーナーでの民族衣装のチマチョゴリについての話題など、食文化や服装を通して異文化理解を深めることができる単元である。さらに最後のセクションではインド人の友人の家を訪ね、写真を見ながら家族紹介が行われる設定である。

1年生ではこれまでに、自分の事を伝えたり、相手のことを尋ねたりする表現を学んだ。2学期の学習目標の1つが「身近な人を紹介すること」である。自分(1人称)と相手(2人称)から視野を広げ、3人称の表現について学ぶ。その足がかりとなる表現をこの単元で学ぶ。言語材料としては、This is~, That is~, Where の疑問文、He is~, She is~.が挙げられる。be 動詞 (am, are, is) の is が初めて出てくるので、am, are との違いを気付かせ、is の用法や視点の違いに関する概念を十分に理解させたい。

(2) 生徒観

本単元に関する学習事項として、1学期はbe 動詞 (am, are) の肯定文、疑問文、否定文、いくつかの一般動詞、さらに What, How many などの疑問詞、複数形を学んだ。be 動詞については自然と I am~, You are~.の表現は理解できた。ただし、Do you play soccer?のように一般動詞の疑問文を学んだ後では、Are you~?の疑問文の受け答えとして、Yes, I do.と間違えて答えてしまう生徒が出てきた。その対策として、帯学習の中でペアでの会話練習を取り入れ、そういった間違いをしないように、日本語から英語に瞬時に直す口頭練習を学習プリントを通して取り組んでいる。その成果として、今では、be 動詞や疑問詞を使った疑問文や答え方を正しく表現できる生徒が増えてきた。

また生徒達は、小学校から知っている ALT が月1度授業に入ると大いに喜び、臆することなく積極的に会話しようとする様子から、小学校での外国語活動において親しく会話しようとする心が培われていることがわかった。「読むこと」の活動においては、教科書の本文をスラスラ読み、また暗唱することもできる。しかし、「書くこと」になると単語は読めるが、綴りを正しく書くことが苦手な生徒がいる。中には desk (机) を besk と間違えてしまう生徒がいる。毎日の授業の中で、必ず書くことを取り入れることで音と文字が一致し、確実に定着していくものと考えている。

学級の雰囲気は明るく元気な生徒が多く、男女とも仲が良い。1学期の最後に行った自己紹介スピーチでは、自分の伝えたいことを選び、個性豊かに発表した。暗記した生徒もおり、1学期の成長をみんなで確認することができた。今回の言語活動を通して、理解を深めるとともに、生徒達の考えを積極的に発表できる態度を育てていきたい。

(3) 指導観

学習指導要領において、「言語活動」には、「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」とある。今回の授業では、**He's~. She's~.**の使い分けを理解するとともに、紹介する人についての他の情報を付け足し、3文以上で表現させる。今までに学習した表現が使えることに気づかせ、それを用いて英文を作らせたい。また本校の研究主題は『生徒の「わかった」「できた」を目指す授業改善』である。これまで、学習プリントの工夫や発問の吟味、毎時間の自己評価カードの取り組みなど、生徒達が各単元の重要ポイントを着実に理解できるように、教師が順序性を考えて授業立案を行い、生徒の押さえるべきポイントを確認しながら指導するように心がけてきた。今回の授業でも、押さえるポイントを示しながら、個々のレベルに応じて3文以上で表現させ、「わかった」「できた」を実感させたい。そして次時への学習意欲が高められるように指導していきたい。

本単元のゴールは「写真の人について紹介しよう」である。生徒達の興味ある人物について、**He is~, She is~**の使い分けが理解でき、ペアやグループでの学び合いを通して他者紹介文を完成させ理解を深めたい。またインプット活動を十分に行った上で、アウトプット活動を仕組むことで、言語材料の定着を図るとともに適切に活用できる力をつけていきたい。

3 学習内容の系統（小学校との関連について）

- ・ 小学校 5 年生（**Hi, friends! 1** より抜粋）

- ① **I'm~.**を使って様子や感情を表す表現に慣れ親しむ。
- ② **What's this? It's~.**を使って、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

- ・ 小学校 6 年生（**Hi, friends! 2** より抜粋）

- ① **Where is~?**を使って、目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

- ・ 中学校 1 年生

- ① **be** 動詞の用法、表現を正しく身につけ、運用する。
- ② **Where is~?**の表現を正しく身につけ、運用する。

- ・ 中学校 2 年生

未来表現（**be going to~**）の文、**There is(are)~**の文、受け身の文を正しく身につけ運用する。

4 単元目標

- (1) **be** 動詞(**is**)を含む英文を用いて、身のまわりの人やものを表現できること。
- (2) 場所を尋ねたり、答えたりすることができる。

5 単元の評価規準

ア：コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ：外国語表現の能力	ウ：外国語理解の能力	エ：言語・文化についての知識・理解
① be 動詞(is)、Where is~?を用いた英文の表現に慣れ親しみ、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に進んで取り組もうとしている。	1 be 動詞(is)、Where is~?を用いて英文で表現することができる。 ② 英文で書くことができる。	① be 動詞(is)、Where is~?で書かれている内容を正しく読み取ることができる。 ② 放送された内容を正しく聞き取ることができる。	① be 動詞(is)、Where is~?を用いた英文の意味・構造を理解している。

6 単元の指導計画（6時間）

時間	○ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○This is~/ That is~.を使った文の構造を知り表現する。 ・ This is~/ That is~.の文で表現する。 ・ This is~/That is~.の文の構造や意味などを知る。	アの①、イの①② ウの②、エの①	チェックシート 観察
2	○教科書本文(Section1)を読み、インドの食文化を知る。 ・ This is~/That is~.を用いた文の内容を理解する。 ・ 教科書本文を音読し、暗唱する。	アの① ウの①、エの①	チェックシート 後日ペーパー テスト
3	○Where is ~?を使った文の構造や内容を知る。 ・ Where is~?を用いた文の構造や意味などを理解する。 ・ 教科書 p52 の Speaking, Let's Try を使い表現する。	アの①、イの①② ウの②、エの①	チェックシート 観察
4	○教科書本文(Section2)を読み、韓国の民族衣装について知る。 ・ Where is~?を用いた本文を読み、韓国の文化について理解する。 ・ 教科書本文を音読し、暗唱する。	アの① ウの①、エの①	チェックシート 後日ペーパー テスト
5 本時	○he, she を用いた、3人称・単数・現在の表現について知る。 ・ he, she を用いた文の構造や意味などを理解する。 ・ 写真の人について紹介する。	アの① イの② ウの①② エの①	チェックシート ダイアログ テスト 発表観察
6	○教科書本文(Section3)を読み、インド人の友人の家族について知る。 ・ he, she を用いた本文を読み、内容を理解する。 ・ 教科書本文を音読し、暗唱する。	アの① ウの① エの①	チェックシート 後日ペーパー テスト

7 本時の指導

(1) 指導目標

写真の人について紹介することができる。

(2) 評価規準

観 点	十分に満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援
表現の能力	He's~.She's~.を使い分け、写真の人について3文以上で紹介することができる。	He's~.She's~.を使い分け、写真の人について紹介することができる。	机間指導をして、He's~.She's~.の使い分けや英文の書き方、話し方を個別に支援する。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点等 (◎評価)
導 入 10 分	1 Greetings 2 Warm up ・単語リストを練習する。 3 学習課題を確認する。	積極的に取り組ませる。 学習チェックシートを見て、確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学習課題「写真の人について紹介しよう。」</div>		
展 開 35 分	4 He's~. She's~.の構造・用法・意味などを理解する。 5 文法練習 ・写真を使って He's~. She's~.の口頭練習を行う。 6 学習プリント、または自分が用意した人物の写真を使って紹介する文をメモしながら練習する。 ① 個人でプリントにメモしながら口頭練習する。 ② ペアで発表しあう。 ③ ローテーションして、ペアを代えて発表しあう。 7 全体の場で発表する。 ・自分で選んだ人物の写真を使って紹介する。	わかりやすく簡潔に説明する。 正しい発音で口頭練習を何度もさせる。 ◎He's~. She's~.を使い分けて表現ができたか。 【表現・観察】 評価の観点を与えて、それを目指して取り組ませる。 ペアで発表練習させる。 ◎写真の人について紹介ができたか。 【表現・観察】
終 末 5 分	8 本時のまとめ He is~. She is~.を使って英文を書き、学習チェックシートに記入する。 9 次時の予告 10 Greetings	正しく英文が書けるように支援する。 プリントを回収し、学習チェックシートに記入させる。 宿題を伝える。

